

### 第24回気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会大会防火のつどいin歌津

宮城県 気仙沼・本吉地域広域消防本部



「防火のつどい」は、昭和56年8月に安全な地域社会づくりの願いを込め、気仙沼市・唐桑町・本吉町・志津川町・歌津町・津山町の1市5町の婦人防火クラブがひとつの輪となり構成された気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会の行事として、会の発足当時から毎年実施されております。この大会は、各クラブ相互の連帯と親睦を図ることを目的として実施されておりますが第24回目を迎えた今回の大会は、6月27日（日）に歌津町を会場に開催しましたが、今まで以上に感慨深い大会となりました。

全国的に進められている市町村合併は当管内でも着実に進んでおり、来年度には今まで一緒に歩んできた津山町が隣接する登米地域8町と合併し登米市になり気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会から離脱することが決定しました。また、気仙沼市は唐桑町と本吉町との合併で気仙沼市に、志津川町と歌津町が合併して南三陸町になる新しい枠組みが進められていることから、1市5町での大会は今回が最後となったのです。

しかし、地域が違っても防災への取組みに対する姿勢に変わりはなく、今後とも相互に連絡協調を図り、更なる親睦を深めていくことを誓った大会となりました。

この大会は、家庭において火気を取り扱う機会が多い婦人が、防火、防災に関する知識を習得し、火災その他の災害から家庭を守り、安全な地域社会づくりを目指すとともに、各クラブ相互の連帯と親睦を深めることを目的として実施しています。

大会は、婦人防火クラブ員・地域住民・来賓等の550名が参加し、午前中は第1部の式典・意見発表、第2部はアトラクション、午後に講演会を実施しました。



第2部のアトラクションは、「津山町 別れても心はひとつ 火の用心」と、離れ行く津山町を惜しみながら、防火防災に対する意識の啓発を図る威勢のいい出し物も披露されるなど、各地区の防火クラブ員が唄や踊りを披露し大会を盛り上げました。

午後の講演会では、岩手県立大学の首藤伸夫教授による「津波、被害、そして対策」と題した防災講演が行われ、来るべく宮城県沖地震に備えるための、貴重な講話を聴講しました。

この大会を通じて、参加者全員が、防火意識の再認識と向上を図ることができ、さらに親睦を深め連帯感もより強固になったと思います。

特に、各クラブが工夫を凝らし発表するアトラクションでは、別れを惜しんで盛大に繰り広げられました。午後の講演会では、岩手県立大学の首藤伸夫教授の、来るべく宮城県沖地震に備えるための、貴重な講話を聴講しました。

この大会を通じて、参加者全員が、防火意識の再



認識と向上を図ることができ、さらに親睦を深め連帯感もより強固になったと思います。

▲ [このページの上に戻る](#)

ぼくたち、わたしたちは火あそびしません！

宮城県 登米地域広域行政事務組合消防本部

秋空の下、管内21幼年消防クラブ員総勢1,093名が一同に会し、9月10日（金）『楽しく・元気になろう！』をテーマに「第16回・幼年防火まつり」を開催しました。

プログラムは、クラブ員による鼓笛演奏・和太鼓演奏・はしご演技に続いて、バケツリレーによる消火訓練を行いました。幼年消防クラブ指導者と消防隊によるパフォーマンス「ウォーターマンと炎怪獣ホームラーとの戦い」、宮城県防災ヘリコプター隊員による救出訓練の展示、そして参加者全員で『防火の誓い』を元気いっぱい宣言し、盛会のうちに終了しました。



終了後は、防災ヘリコプターや消防車・救急車をバックにクラブ単位で記念撮影を行いました。カメラを前にどの顔もはち切れんばかりの満面の笑顔と『防火の誓いをがんばるぞ！』との決意を込めてカメラに収まっていた。

当管内における今年度の火災件数が、昨年と比較し大幅増にある中で、幼児や子供の火遊びに起因する火災は、ここ数年発生しておらず、『幼年防火まつり』開催や、クラブごとに毎月のように実施している消防訓練や防災教育により、幼児期からの

『火』に対する正しい知識と『火の用心』を身につけさせることを目的としているイベントが功を奏しているものと自負しております。

また、「幼年防火まつり」開催の波及効果も大きく、ともすると、関係機関だけのイベントになってしまいがちですが、幼児の家族や会場周辺の地域住民の見学者も多く、明るく県名に演技する園児たちに暖かい声援や大きな拍手も寄せられると同時に、幼児期からの「火災予防に対する意識の高揚の大切さ」に共感を寄せられています。

▲ このページの上に戻る



## 郡上市女性防火クラブ研修会

岐阜県 郡上市消防本部



平成16年9月11日（土）日本まん真ん中センター（郡上市美並町白山4-30）にて、平成16年度郡上市女性防火クラブ研修会を実施しました。市内の女性防火クラブ員257名が参加しました。

武藤茂子会長のあいさつの後、郡上消防本部の署員が救急業務などをテーマに意見発表を実施し、続いて、岐阜県地域県民部消防課 小島一也課長補佐が、「家庭・地域での防火・防災対策」と題して、地域の安全・安心な暮らしを目指して非常時の適切な対応、安全管理についての講演を実施しました。

▲ このページの上に戻る

## YOU・遊：消防フェスタ2004

愛知県 豊田市消防本部

前年度、名称を防火のつどいからYOU・遊：消防フェスタへと名称変更し、コーナー等大幅な変更をし、大盛況で終了した消防フェスタ。今年で24回目の実施となり、クラブ員や市民に親しみの持てるイベントとなりました。

今回は10月3日（日）午前9時30分より、雨天の中での開催となりました。会場の豊田市消防本部庁舎にはクラブ員など、約3,200名が集まりました。

少年消防クラブ員の防火作品優秀賞の表彰、幼年



消防クラブの写生大会優秀賞の表彰では、各クラブ員は表彰を通し更なる防火への関心が高まりました。表彰を終えたクラブ員は、展示、体験の各コーナーを回り楽しみながら、防災に関心を深めた様子でした。

また、幼年消防クラブのドリル演奏は、実施直前に激しい雨が降り、残念ながら中止となりました。この日のために猛練習を重ねたクラブ員は、とても残念な様子でした。



婦人消防クラブ員は、非常食試食、手作りキーホルダーなどの各コーナーに配置し、参加者と触れ合いました。

消防が消防フェスタを開催し、展示やイベントを実施することにより参加者が楽しみながら各種体験で消防の理解を深め、防災に対する意識を高揚しました。

また、各体験、展示コーナーでは、参加者全員が楽しみながら防災の知識を身につけ有意義な1日となりました。

---

[▲ このページの上に戻る](#)

## 第17回太田地区幼年少年婦人防火クラブ火災予防推進大会

群馬県 太田地区消防組合消防本部

第17回太田地区幼年少年婦人防火クラブ火災予防推進大会は、大会当日の悪天候により、急遽太田地区消防組合にあります屋内訓練場（体育館）での開催となりました。

そのため、予定されていた一部（消防車と綱引き、消防救助隊訓練展示等）は割愛となりましたが、幼年クラブの演技や少年クラブの操法展示、急遽取り入れた消防クイズなど、参加団体にとりましては消防が身近に感じられた機会になったと思われる、火災予防や救急業務、その他消防行政に対する正しい理解と認識を得られたと思われます。



屋内消火栓操法訓練では、推進大会前に何度も訓練を重ね本番に望んだ少年クラブ員は、消防士顔負けのすばらしい訓練を展示し、良い思い出になったかと思えます。

---

[▲ このページの上に戻る](#)



## 金沢市子ども消防クラブにおいて連合訓練

石川県 金沢市消防本部

金沢市子ども消防クラブの連合訓練が10月16日(土)、金沢市民芸術村芝生広場で開かれ、市内55クラブ約330名が消防ゲームにちなんだゲームを楽しみ、防災に対する意識を高めました。

クラブ員の入場行進・規律訓練から始まり、子ども消防クラブ協議会の香村幸作会長が「火災のない町づくりを心掛けましょう」とあいさつ。続いて、各クラブでチームを編成し、市消防本部職員の指導を受け、3種類のゲームに取り組みました。



### 消

火器ゲームでは、水の入った消火器を噴射し、正確に的に当てるよう挑戦し、救急ゲームでは、けが人を想定した人形に応急手当を施し、担架で運ぶタイムを競いました。煙体験ゲーム、規律訓練を合わせた4種目で各クラブが技術を競いました。

訓練の結果、此花、犀川、菊川、米泉、大徳の5クラブが成績優秀クラブに選ばれました。



[▲ このページの上に戻る](#)

## 平成16年度消防フェスティバル開催

静岡県 富士宮市芝川町消防組合消防本部

11月9日から15日までの7日間、『火は消した？いつも心に きいてみて』を統一標語に「平成16年秋季全国火災予防運動」が展開されました。火災の発生しやすい季節を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図るのが目的です。

富士宮市芝川町消防組合及び(財)日本防火協会は同

運動に先がけ、10月16日（土）午前9時から午後1時まで、同市外神東町の外神スポーツ広場で「平成16年度消防フェスティバル」を開催しました。

第1部は開会式及び防火ポスター、消防協力者の表彰式が行われました。13団体約1,300名が参加しました。開会に続き、主催者挨拶、来賓祝辞などが行われ、引き続き、防火ポスター入賞者表彰、消防協力者表彰を行いました。



本年度

の幼少年消防クラブ防火ポスター入賞者は、幼年の部の金賞にはリーチェル幼稚園幼年消防クラブの佐野涼音さん（年長）、少年の部では大宮小少年消防クラブの松本優一郎さん（三年）がそれぞれ受賞しました。応募数は幼年・少年合わせて約110点。

少年の部金賞の松本さんの作品は、実際に自分が体験した事柄に基づいた作品です。スピードスケート国体選手の父親が長野オリンピックの聖火ラン

ナーの大役を担った際、清水から静岡方面に向かって走る父親のコース沿道で発生した火災を目撃しました。その強烈な印象をこのポスターに表現しました。「平和の火、大切に使おうね」という呼びかけの中に松本さんの火への思いが託されています。これらの入賞作品は、消防フェスティバル会場でも展示され、多くの市民が見学し、火災予防意識の高揚に子供たちの作品が一役買いました。

第2部はイベントが展開され、鼓笛隊演奏や各競技、バザー、出店（飲食）コーナー、消防車輛展示、ミニ消防車試乗、チビっこレスキュー、煙体験ハウス、福引抽選会などが行われ、終日子どもたちの歓声が響いていました。



[▲ このページの上に戻る](#)

## 有田市消防フェスティバル

和歌山県 有田市消防本部

「災害に強い町、災害に強い市民づくり」をテーマとし、「みんなでなろう災害に強い有田市民」をスローガンとする『有田市消防フェスティバル 2004』が10月17日（日）10時から、有田市右岸河川敷広場で晴天の中、盛大に行われました。

消防フェスティバルを通じて地域との交流を深め、市民の防災意識の向上を図り、災害のない町づ



くりを推進することを目的とし、幼年消防クラブ員642名、婦人防火クラブ員169名ら、約3,000名が参加されました。

フェスティバルでは、



アトラクションでの幼年消防クラブの鼓笛演奏及び演技、体験・展示コーナーでは消火器による初期消火、消防自動車体験、地震体験、レンジャー体験などの展示や体験が行われ、最後に、幼年・婦人及び市民に対する防火祈願もちまき大会が行われました。

このフェスティバルを通じ、参加者の防火意識の普及、また災害のない町づくりを推進することなど、火災予防に大きな効果が得られました。

[▲ このページの上に戻る](#)

## 栃木県自主防災組織指導者講習会

栃木県 栃木県消防防災課

平成16年10月18日(月)栃木県宇都宮市の栃木県総合教育センターで「平成16年度栃木県自主防災組織指導者講習会」が開催され、地域の自主防災活動にあたっている約420の方が受講しました。

講師に文化放送の防災キャスター高橋民夫氏を迎えて「過去の災害に学ぶ みんなで守ろうわが家わが町」をテーマに講演をいただくなど、家庭や地域における防災対策や地域が一体となった自主防災体制づくりに役立つ講習会となりました。



[▲ このページの上に戻る](#)

## 幼年消防まつりで防火の誓い

岐阜県 可茂消防事務組合消防本部



可茂地域少年婦人防火委員会では、可茂郡東白川村、七宗町、白川町内の10幼年消防クラブから153名のクラブ員が参加し、秋の火災予防運動の一環として平成16年10月20日(水)幼年消防まつりを実施しました。可茂郡東白川村のはなのき会館において開催されました。

3つの町村はすべてに幼年消防クラブが結成されています。

当日は午前10時から保護者、婦人防火クラブ員や消防関係者約230名が参加し、可茂地域少年婦人防火

委員会会長尾石文雄氏より、「先生や家の人の言うことをよく聞いて、火あそびをしないよい子になって下さい」と挨拶がありました。

活動発表にうつり、パネルシアター、鳴子踊りや人形劇を観劇しました。最後に、大きな声で誓いのことばと火の用心の歌を歌い、防火を誓いました。



▲ [このページの上に戻る](#)

## 第18回幼年消防クラブ秩父地区大会

埼玉県 秩父消防本部



秩父地区少年婦人防火委員会では、10月22日(金)秩父ミューズパークにおいて、来賓者多数のご出席を賜り、23クラブの年長組園児、婦人防火クラブ、指導者(保護者)等1,100名が参加して「幼年消防クラブ秩父地区大会」が盛大に行われました。

この大会は、参加者の防火意識の再認識と幼年者に対する「防火思想の普及啓蒙」を図ることを目的としており、昭和61年の第1回大会以後毎年実施(平

成7年には全国大会実施)しております。

今年で第18回目となった本大会は、台風一過(23号)の好天に恵まれ、第1部は子供達の元気な「防火の誓い」から始まり、秩父消防音楽隊の演奏に合わせて「火の用心のうた」を大合唱し、音楽隊と遊ぼうでは「散歩」など5曲をクラブ員全員で歌ったり踊ったりしました。

第2部は秩父消防署特別救助隊による救助訓練を見学、高所に張られたロープを隊員が渡ったり降下したりすると、そのたびに園児達の大きな拍手や歓声が聞こえ、大変盛り上がりました。

大会はプログラムどおり順調に進行し、フィナーレを迎えることができました。



▲ このページの上に戻る

「ぜったいに火あそびはしません。」

熊本県 有明広域行政事務組合消防本部



荒玉地区幼少年婦人防火委員会では、管内の幼年消防クラブ員が一同に会し、消防のふれあいを通して、防火防災思想の一層の高揚と組織の活性化を図り、防災街づくりの基礎を築くことを目的に、10月22日(金)玉名市民会館及びその周辺において「第8回荒玉地区幼年消防大会」を開催しました。

式典には、幼年消防クラブ員、来賓者や父母、消防職員関係者ら約1,500名が参加し、優良クラブ表彰や4クラブ園が法被姿で太鼓やまといを手に演技を披露したり、クラブ全員で「ぜったいに火遊びはしま

せん」と元気よく防火の誓いをしました。

また、周辺広場では、ミニ消防車の放水やはしご車の試乗体験コーナーなど9コーナーを設け、上空では、消防防災ヘリコプター「ひばり」が飛来し救出、救助訓練を行い大会に華を添え子供たちを楽しませ、会場は、終日賑わい実のある大会となりました。



▲ このページの上に戻る

## 市民救命サポーター「ほーむ」の設置

大阪府 豊中市消防本部

豊中市消防本部（大阪府）では、病気やケガをした人の救命率を高めるために、「救急車が到着するまでの対応」119通報や応急手当を市民に協力してもらう市民救命サポーター「ほーむ」制度を豊中女性防火クラブ連絡協議会（会長 井関 雅子 31組織）の協力を得て、地域住民による市民救命サポーター・「ほーむ」を今年6月に立ち上げました。

現在のところ、4クラブ54名のクラブ員に賛同していただき、自宅玄関にステッカーを掲示していただいています。

この制度は、救命率を高めることを目的とし、これまで住宅防火に関して消防行政にご協力していただいた「女性防火クラブ員」の中から希望された方を対象に救命講習会に参加をしていただき、修了した方に119通報や傷病者発見時の応急手当、さらに、救急隊員への情報提供等の活動を実施してもらう制度です。

救命サポーター自体は、昨年から市内のガソリンスタンドの理解と協力を得て、「市内31店舗を「救命サポーター・ステーション」としてお願いをし、現在も他の業種に働きかけて、活動の輪を広めているところです。

このように、当市では、女性防火クラブの家庭を中心とした市民救命サポーター・「ほーむ」と事業所を中心とした「救命サポーター・ステーション」を両輪として、市民と協働した救急システムの構築をめざしております。

### ステッカー

自宅玄関に掲示するステッカー

